

2月の「19の日」行動

スタンディングアピールのみ
デモなしで開催とします！

菅首相は命暮らし優先し、改憲策動をやめよ！
密を避けながら地域・職場で可能な行動を！



コロナの感染爆発が進もうとしている今、菅首相は憲法改悪などのアベ政治を引き継ぐとともに、コロナに対しても、その収束や感染縮小に力を注ぐ本気の姿勢は見えません。経済優先と言いながら目先の利益に執着し、日本経済も破綻しかねませんし、なにより国民の命も生活も深刻な事態に陥ろう

としています。今こそアベ・菅政治に怒りの声をあげましょう。

また、安倍前首相の「桜問題」では国会で首相がウソの答弁をしていた事が明らかとなりましたが、菅首相自身も官房長官としてウソの答弁に加担したことをまともに受け止めず、真相究明にも蓋をしようとしています。政治腐敗と、法も人権も守らないアベ政治の実態が表に出てきています。さらに東京五輪組織委員会の森喜朗会長が女性蔑視の発言をした問題はジェンダー平等の観点からもあってはならない事です。このような問題や政治は、コロナ対策にも表れて、国民の声を真剣に受け止めようとする姿勢が見えません。国民の手に政治を取り戻すためにさらに「野党は共闘」の声を広げましょう。

とき **2月19日（金）**

午後 6時30分～ 7時

デモは中止します（スタンドアピールのみ）

ところ 京都市役所前（御池通側歩道）

呼びかけ 京都憲法共同センター